

⑨日本国特許庁
 公開実用新案公報 ⑩実開昭50-133804
 ⑪日本分類 ⑫96(1) A 3
 H 05 K 5/06 ⑬内整理番号 7015-53
 ⑭公開 昭50(1975).11.4
 ⑮審査請求 有

⑯防水型ラジオ受信機

⑰実願 昭49-44923
 ⑱出願 昭49(1974)4月19日
 ⑲考案者 東明
 門真市大字門真1006松下電器
 産業株式会社内
 同 山本武征
 同所
 ⑳出願人 松下電器産業株式会社
 門真市大字門真1006
 ㉑代理人 弁理士 中尾敏男 外1名

㉒実用新案登録請求の範囲

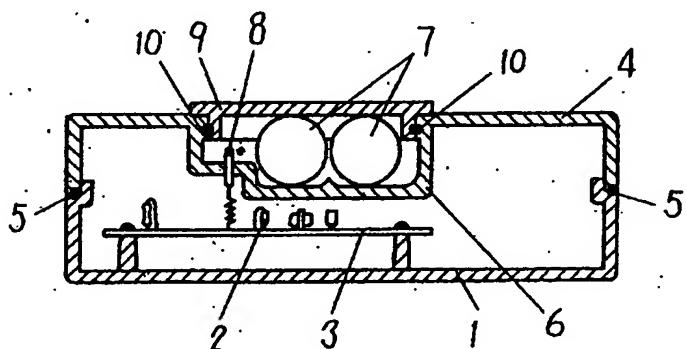
受信回路を内装したキャビネットとこれに嵌合
 される裏蓋との間にパッキンを介在して両者間

の気密を保つように構成すると共に、上記キャビネット、裏蓋のいずれか一方に内側に突出する電池収納用の凹部を一体に形成し、この凹部内に上記受信回路に接続されるイヤホーン用のジャックや外部電源用端子などの外部接続端子を取付け、かつ上記凹部の開口部にパッキンを介して電池蓋を装着してなる防水型ラジオ受信機。

図面の簡単な説明

図面は本案の防水型ラジオ受信機における一実施例の断面図である。

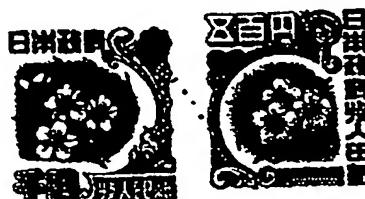
1……キャビネット、2……電気回路部品、3
 ……プリント基板、4……裏蓋、5……パッキン
 グ、6……電池収納用凹部、7……電池、8……
 外部接続端子、9……電池蓋、10……パッキン
 グ。



7
公開実用 昭和50-133804

50.11.04

JP50 133804U



(1,500円)

実用新案登録願 (64)

昭和 49 年 4 月 19 日

特許庁長官殿

1 考案の名称

ポウスイガタ ジュンキ
防水型ラジオ受信機

2 考案者

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内

氏 名 ヒガシ

アキラ

(ほか1名)

3 実用新案登録出願人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
名 称 (582) 松下電器産業株式会社
代 表 者 松 下 正 治

4 代 理 人 〒571

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内

氏 名 (5971) 弁理士 中尾敏光

(ほか1名)

〔連絡先 電話060-453-3111 特許部分室〕

5 添付書類の目録

(1) 明細書	1	通
(2) 図面	1	通
(3) 委任状	1	通
(4) 願書副本	1	通

審査
石審

49 04492

明細書

1. 考案の名稱

防水型ラジオ受信機

2. 實用新案登録請求の範囲

受信回路を内蔵したキャビネットと共に嵌合される耳塞との間にペッキンダを介在して両者間の気密を保つよう構成すると共に、上記キャビネット、耳塞のいずれか一方に内側に突出する電池駆動用の凹部を一体に形成し、この凹部内に上記受信回路に接続されるイヤホーン用のジャックや外部電源用端子などの外部接続端子を取付け、かつ上記凹部の開口部にペッキンダを介して電池蓋を装着してなる防水型ラジオ受信機。

3. 考案の詳細を説明

本案は水面に浮かして使用したり、雨の中で使用したりすることのできる防水型のラジオ受信機に係り、簡単な構成で優れたラジオ受信機を提供するものである。一般に雨の中でも使用可能なラジオ受信機は公知であるが、この種のものはイヤホーン用のジャックや外部電源用端子などをキ

2

ピネットより嵩出して取付けられており、雨の中で使用した場合これらの外部接続端子から雨水がキャビネット内に侵入することがあり、又、上記端子部分が早期にさびつくなどきわめて不都合なものであった。

本案は以上のような従来の欠点を除去するものであり、イヤホーン用のジャックや外部電源用端子などの外部接続端子をキャビネット又は裏蓋と一緒に形成した電池収納用凹部内に取付け、雨の中で使用したり、水に浮かして使用したりした場合でも外部接続端子に水滴が附着しないように構成したものである。

以下、本案の防水型ラジオ受信機について一実用の凹面とともに説明する。図において、1は電気回路部品2、プリント基板3等で構成される受信回路を収納したキャビネット、4はキャビネット1の開口部にペッキンダ6を介して嵌合された裏蓋、5は裏蓋4と一緒に形成された内側に突出する電池収納用の凹部、7はこの凹部5に収納された電池、8は上記凹部5に取付けられたイヤホーン用のジャックである。

ホーン用のジャックや外部電源接続用端子等の外部接続端子、⑨は凹部の開口部にパッキング⑩を介して嵌合された電池蓋である。

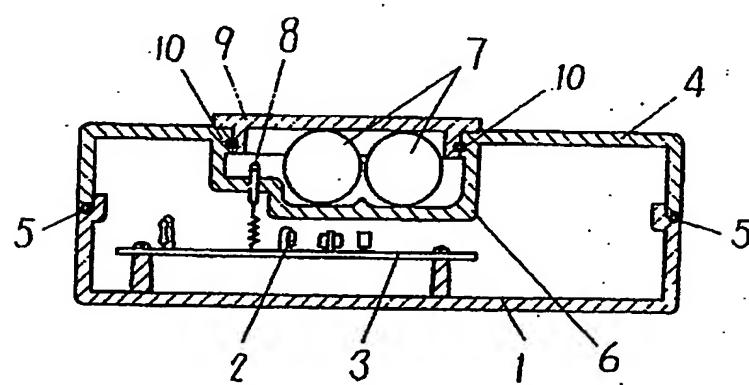
本案は上記実施例より明らかかなように、キャビネットと電池蓋をパッキングを介して気密に嵌合すると共に、キャビネット裏蓋のいずれか一方に電池収納用の凹部を形成し、この凹部内に外部接続端子を取り付け、凹部開口部にパッキングを介して電池蓋を嵌合したものであり、外部接続端子が電池蓋によって密閉された電池収納用凹部内に取付けられているため、雨の中で使用したり、水の中に浮かして使用したりした場合でも外部接続端子に直接水滴が附着するようなことは全くなくきわめて有効なものである。そして、本案によれば、電池収納用凹部に外部接続端子を取り付けていためイヤホーンを接続したり、外部電源を接続したりする場合には電池蓋をはずすだけで容易に接続することができ、使用面でもきわめて有効なものである。

4. 図面の簡単な説明

4
図面は本案の防水型ラジオ受信機における一実
用例の断面図である。

1……キャビネット、2……電気回路部品、3
……プリント基板、4……裏蓋、5……パッキン
グ、6……電池収納用凹部、7……電池、8……
外部接続端子、9……電池蓋、10……パッキン
グ。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名



代理人の氏名

弁理士 中尾敏男
ほか1名

133804

BEST AVAILABLE COPY

B 00238

6 前記以外の考案者および代理人

(1) 考案者

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏 名 畠 美 賢

(2) 代理人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏 名 (6152) 弁理士 粟野重孝

BEST AVAILABLE COPY